

残席わずか

# 思考の整理、レポート・提案書作成のための『図解表現入門講座』【会場・オンライン同時開催】（4124080）

私たちは、さまざまな場面で、図やイラストを目にしています。業務においても、図や表が必要不可欠なものとなっています。しかし、作成者の立場に立たされたとき、多くの人は、何から手をつけたらよいのか、立ちつくします。本セミナーでは、発想法としての図解から、作図の原則、効果的な図の配置の仕方、視点の流れまで、基礎からお話します。

開催日時	2024年9月10日(火) 10:00-17:00
カテゴリー	業務遂行スキル <b>ヒューマンスキル</b>
講師	丸山有彦 氏 (myコンテンツ工房代表:業務改革・文書コンサルタント) 1962年生まれ。専門学校にて講義およびテキスト作成に従事。同時に歴史研究者に師事し基礎研究法を学ぶ。その後、失語症の言語訓練を研究、渋谷失語症友の会副会長。訓練法を子供の作文指導、職業訓練に応用。その経験から新しい日本語の文法を構築する。現在、企業向けにビジネス文書、文章の指導を行っている。myコンテンツ工房代表。渋谷油絵教室代表。ブログで情報発信をしております。ご興味ある方はご覧ください。 <a href="http://mycontentslabo.com/">http://mycontentslabo.com/</a>
参加費	JUAS会員/ITC: 35,200円 一般: 45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	※2024年4月より移転しました※一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (NBF東銀座スクエア2F)
対象	<b>初級</b>
開催形式	講義・個人演習
定員	39名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

## 主な内容

### ■受講形態

【選べる受講形態】

A. 会場にてご参加

B. オンラインにてご参加: **【セミナーのオンライン受講について】**

### ■テキスト

A. 会場にてご参加: 当日配布

B. オンラインにてご参加: 開催7日前を目途に発送 (お申込時に送付先の入力をお願いします)

※開催7日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

### ■開催日までの課題事項

特になし

私たちは、さまざまな場面で図やイラストを目にしています。パワーポイントをはじめとしたアプリケーションによって、業務においても、図や表が必要不可欠なものとなっています。

しかし、作成者の立場に立たされたとき、多くの人は、何から手をつけたらよいのかと立ちつくします。図や表をどう作っていくべきか、学んだことのない人がほとんどです。アプリケーションを使いこなすのとは別に、作図の方法を学ぶ必要があることに気づくはずですが、最近、一枚におさめた企画書が盛んに作られ、目にする機会があるはずですが、それらはたいがい、きれいに作られています。ところが必ずしも、私たちに訴えかけるものばかりではありません。センスの良し悪しが問われています。見た目のきれいさと同時に、表現の内容・様式が問題なのです。大切なことは、図解をする前に、自分の考えが整理できているかどうかです。

考えをまとめるときにも図解は利用できます。考えが整理されたら、それを効果的に伝えることが必要です。その方法を知れば、多数の

方々にアピールすることができます。本講座では、発想法としての図解から、作図の原則、効果的な図の配置の仕方、視点の流れまで、基礎からお話しします。

<内容> ※内容の一部を変更する場合がございます。

#### 1 図解とはどんなものか

- ・図解をする目的
- ・図解の得意なもの不得意なもの

#### 2 図解の構成要素と図解の種類

- ・図解の基本要素
- ・図解の種類

#### 3 図解を利用する3つの場面

- ・発想法としての図解
- ・コミュニケーションツールとしての図解
- ・不特定多数にアピールする図解

#### 4 図解作成の原則

- ・図解の原則～定量化から項目名のつけ方まで
- ・自分の考えを整理する場合
- ・整理された考えの再構成

#### 5 図解作成の具体的手順

- ・グラフの選択
- ・表、マトリックスについての原則
- ・製品の紹介を図解する場合
- ・業務フローの描き方
- ・演習

#### 6 色の使い方

- ・濃淡
- ・暖色と寒色
- ・色の合わせ方～国旗から学ぶ
- ・色彩のチェック法

#### 7 全体のバランス

- ・文章と図のバランス
- ・図の配置の仕方
- ・人間の視覚に関する基本原則
- ・視線の動き方

#### 8 プレゼンテーションと紙文書

- ・情報量の相違
- ・視点の流れ

<受講者の声>

- ・一般的、常識的なドキュメンテーションのあり方を体系的に教えてもらえるのは初めてだった。
- ・プレゼン資料を作成する際に気を付けることだけではなく、グラフ作成時の考え方を学べ、業務に生かせそうであると思った。
- ・図を書く時の基本ルールについて、よい例・悪い例を示しながら説明されており、理解しやすかった。
- ・図表の色彩、配置など、見やすい図解にするにはどうしたらいいか非常に参考になった。